



デンタルニュース読者の皆様は虫歯や歯周病に悩まされたり、それらを治療したり予防するためにこの藤崎歯科医院に来院されている患者様だと思いますし、歯や口の中の事に対して関心を持っている方が多いのではないかと思います。歯を持つ生物は人間以外にもたくさんいますが、歯の病気に対して治療を行ったり、予防を行ったりする生物は人間以外に存在しません。人類は誕生してから今日に至るまで歯にまつわる迷信を信じたり、歯の悩みを抱えたり、歯の内部の構造について考えたりしてきました。体の中でも非常に異質なこの部分に対して昔の人はどのように考え何を行って

きたのかということに焦点を当て、人間と歯の関係についてコラムを書かせていただくことにしました。人間の歯はご存じのように生涯で一度だけ子供の歯が大人の歯に生え変わります。歯というものは大きな問題がなければ人種、性別、国籍などにかかわらずほとんど全ての人生えてきて、幼少期に大人の歯に生え変わるという人類共通の経験をします。

この出来事に対して日本でも昔から言い伝えがあることをご存知の方も多いでしょう。下の歯は屋根の上の歯は軒下に投げる。そして投げる際にはネズミの歯になーれと声に出すという風習が微妙な差異はあれども全国的に存在します。これは下の歯は上に向かって、上の歯は下に向かって丈夫に生えてきますように、またネズミなどのげっ歯類の歯は一生伸び続ける事から古来より歯に関しての縁起物とされており、ネズミのように歯に問題を抱えることなく成長できますようにという願いを込めた風習と言われています。ネズミの歯の他には「いい歯」「鬼の歯」「スズメの歯」などのレパートリーもあり地域差が認められます。

一方、欧米ではトゥースフェアリー（歯の妖精）の存在が広く信仰されています。乳歯が抜けたら子どもは寝る際に枕の下に乳歯を忍ばせて眠ります。すると眠っている間に歯の妖精がやってきて朝には乳歯がキレイな石や小さなコインに変化しているというなんとも子どもにとっては楽しいイベントとなっています（親にとってどうかはわかりかねますが）。

こどもの歯が大人の歯に生え変わるというイベントはこどもの成長を感じることでできる喜ばしい出来事と捉えられますが、一方、歯の痛みと人類は長い年月のお付き合いがあることが古くから記録されています。歯の痛みと言うのは実は人間が感じる痛みの中でも非常に強く鋭い物と位置づけられています。そのため痛みが激しく早急な処置が必要だったり、拷問などに応用されるといった記録も古くから多数残っているのです。エジプトで出土した紀元前二千年ごろのパピルスの記録に歯の痛みについての記載があることに始まり、痛みのある歯に対する治療が世界中で行われてきました。

痛みを取り除くためにおまじないをしたり、鎮静作用のある薬草を煎じたり、歯を抜いたり、歯を火であぶったり、金属を叩いて穴につめるといった効果の高いものからなにやら怪しい治療まで玉石混交の様相を呈していたようです。古代には歯の中には歯虫と呼ばれる虫がいてその虫が暴れることによつて痛みが出ると考えられていました。実際に歯の中の虫を取り出して発表した者もいたようですがそれはおそらく内部の歯の神経だったと考えられています。その後中世欧州では歯の内部には悪魔が住んでいるといった説が流行しますが、歯の痛みというものがいかに人々を苦しめてきたかを感じ取る事ができるエピソードですね。

ちなみに現代の歯の治療に欠かす事の出来ない麻酔薬についてですが、部分的な麻酔を行って安全な歯科治療を行う事が出来るようになったのは19世紀になってからの事です。それまでは全身に使用する麻薬やガス、さらに遡るとお酒を多量に使用して痛みをごまかしながら治療を行う方法や、ただ単純に激痛に耐えながら治療が行われていたようです。

オフィスホワイトニングを始めました！



ホワイトニングとは歯本来の色を明るくするものでヤニや着色などの歯の上についた色や汚れを落とすものではありません。

今まではトレーを作製し、数日から数週間ご自宅で液を入れて使用するタイプのホームホワイトニングのみを行っていましたが、今回導入したオフィスホワイトニングは、医院で行い当日のうちに歯の色調を明るくする方法です。どちらのホワイトニングも効果は個人差があります。またその効果は永久的ではなく少しずつ色戻りします。

最近ではエステ店や、セルフホワイトニング店など低価格で行える

ホワイトニングがありますが、何が違うのかよく質問を受けますので、違いについてお伝えします。基本的にそのようなお店は医療機関ではないため、医療行為は行えません。また医薬品を使用することも法律で禁止されているため、私達の使用している医薬品（過酸化水素類）は使用できないので歯の表面の汚れを軽く取る程度の成分だと考えられます。

注意をしていただきたいのは、歯科医師や歯科衛生士の資格を持たないエステ等でも過酸化水素を使用してホワイトニングを行っている所も実際にあるという点です。虫歯や歯にヒビ等があると知覚過敏や歯を痛める原因になります。

当院ではホワイトニングを行う場合はまず歯科医師が虫歯や治療が必要な歯の有無とホワイトニングに適切なチェックを行い、カウンセリングやお掃除等は歯科衛生士が担当します。オフィスホワイトニングは知覚過敏抑制剤を使用してから行いますので安心してご相談下さい。

すぐに白くしたい！長持ちもさせたい！という方は、オフィスホワイト

ニングを行ってからホームホワイトニングを行うことで白さを長くキープすることが出来ますので、併用がオススメです。オフィスとホームのセット価格もありますのでホワイトニングに興味のある方はぜひお尋ね下さい。

歯科衛生士 山口

